

いざ!!の時の応急処置・乳幼児の為の救急法

=H22. 6. 29=



ほく、
消防士のおんちゃんに
なる!

「大きくなったら消防のおんちゃんになる♪」と言っている子どもに、消防士さんの帽子を被せてくれました。

大きな帽子は動くたびにズレたけど、誇らしげに胸を張っていたね!

気分はもちろん『カッコいい消防士!』^□^

仁淀消防署の救急救命士さんが、いざという時の応急処置や救急法について、とても丁寧に教えてくださいました。



心肺蘇生法の実習

具体的な事例をあげてのお話には、パパもママも真剣そのもの。例えば、飴が喉に詰まってしまった!呼吸していない時はとにかく心肺蘇生法。呼吸をしている場合、子どもの背中を叩いて吐き出させる方法を教わりました。



まずは気道確保ですね!



大事なお話・・・みただね?



「子どもを守りたい!助けたい!」
ひろばは、真剣な空気



救急法は、いざの時に出来るよう毎年繰り返し受講することが大切ですね。ひろばに来所する子どもの年齢に合わせ、0歳児を含む乳幼児対象の心肺蘇生法もご指導いただきました。

『子どもを守りたい!』との参加者の熱意が伝わりました。